

平成21年度長寿・子育て・障害者基金 助成事業の採択状況

先に採択いたしました平成21年度長寿社会福祉基金、高齢者・障害者福祉基金、子育て支援基金及び障害者スポーツ支援基金4基金の助成事業について、そのうち特別分^{*1}及び地方分^{*2}の採択状況（概要）をご紹介します。

採択状況と団体種類

特別分助成事業の採択状況は、全体で87事業となっています。団体種類別に見ると、最も多いのはNPO法人で59事業、続いて非営利任意団体が15事業となっております。一方、地方分については全体で708事業となっています。団体種類別では特別分と同様、NPO法人が389事業と最も多く、続いて非営利任意団体の221事業となっております（次ページ表1参照）。

要望と採択の状況

次に、要望・採択の状況について、特別分、地方分別に採択率を通して見てみましょう。特別分は87事業の

採択に対して468事業の要望があり、採択率は18・6%となっています。基金別で見ると高齢者・障害者福祉基金の要望が最も多く、採択率は21・2%となっています。地方分は708事業の採択に対して1260事業の要望があり、採択率は56・2%となっております。基金別で見ると特別分と同様、高齢者・障害者福祉基金の要望が最も多く、採択率は49・5%となっています（次ページ表2参照）。

重点助成分野と分野横断的な取組みについて

事業の採択に当たっては、国の政策や地域における福祉活動の動向等を踏まえた重点助成分野を設定し、これらに該当する事業は優先的に採

択しました。その内訳は、特別分69件（複数年助成1年次目9件、2年次目4件を含む）、地方分425件（複数年助成1年次目25件、2年次目13件を含む）となっております。

また、多様な福祉ニーズにできる限り対応するため、保健医療との連携を進めるなど分野横断的な取り組みを行う事業や、事業の対象者を基金の別や制度の別にとられず幅広くとらえて取り組む事業など、新しい発想に基づく従来の枠を超えた活動についても積極的に助成の対象としました。その内訳は、特別分16件（複数年助成1年次目1件を含む）、地方分30件（複数年助成1年次目1件、2年次目2件を含む）となっております。

地方分モデル事業助成について

平成19年度に創設された地方分モデル事業^{*3}については、平成21年度は、『団塊世代等による孤立した高齢者への支援事業』、『父親の子育て活動促進・ネットワーク事業』を助成対象とし、15事業を採択しました。

複数年助成について

複数年助成は、重点助成分野に該当する事業であって、実施に2か年を要する事業又は事業を2か年継続することで効果や成果が発揮される事業に絞られ、平成18年度より特別分助成において募集・採択してきましたが、平成20年度からは新たに地方

^{*1} 特別分……民間の創意工夫を活かした自発的な事業又は先駆的なモデル事業であって、全国あるいは同様の地域への普及の可能性のある事業に対する助成

^{*2} 地方分……地域で活動するボランティア団体等民間の地域の実情に即したきめ細かな事業に対する助成（長寿社会福祉基金を除く）

^{*3} 地方分モデル事業……長寿・子育て・障害者基金助成事業において、過去に助成した事業のうち特に優れた事業で、さらに発展させることが望まれる事業をモデル事業として抽出し、積極的に助成するもの

分助成においても、実施に2か年を要する事業または事業を2か年継続することで、効果や成果が発揮される事業に限り、募集・採択しています。平成21年度は、特別分助成では、採択された87事業のうち9事業が複数年助成の1年次目、4事業が複数年助成の2年次目の事業として採択され、地方分助成では、採択された708事業のうち32事業が複数年助成の1年次目、19事業が複数年助成の2年次目として採択されました。

事後評価について

長寿・子育て・障害者基金事業では、平成15年から、全ての助成事業を対象に事後評価を実施しています。これは、当基金が助成した個々の事業の成果や問題点等を整理し、助成事業の効果を適切に把握することで、今後の助成時の採択や基金事業運営の改善に活かしていくとともに、広くその効果を広報していくことで、普及に結び付けることを目的としているものです。この事後評価につきましては、機構ホームページに事後評価報告書及び、優れた助成事業の概要を掲載しておりますのでご参照ください。

表1 助成対象団体の団体種類別の状況（平成21年度分）

	特 別 分		地 方 分	
	事 業 数	構 成 比	事 業 数	構 成 比
総数	87事業	100.0%	708事業	100.0%
社会福祉法人	8	9.2	72	10.2
NPO法人	59	67.8	389	54.9
財団法人	2	2.3	10	1.4
社団法人	3	3.4	11	1.6
株式会社等営利法人	0	0.0	2	0.3
非営利任意団体	15	17.2	221	31.2
その他の法人・団体	0	0.0	3	0.4

(注) その他は、学校法人1、医療法人1、生活協同組合1である。

表2 要望と採択の状況（平成21年度分）

件 数	要 望		採 択		要望に対する採択の比率	
	特別分	地方分	特別分	地方分	特別分	地方分
総数	468事業	1,260事業	87事業	708事業	18.6%	56.2%
長寿社会福祉基金	75	-	9	-	12.0	-
高齢者・障害者福祉基金	203	659	43	326	21.2	49.5
子育て支援基金	171	483	26	311	15.2	64.4
障害者スポーツ支援基金	19	96	9	56	47.4	58.3
地方分モデル事業	-	22	-	15	-	68.2

(注) 地方分の要望は、都道府県・政令指定都市社会福祉協議会への要望の件数である。

金 額	要 望		採 択		要望に対する採択の比率	
	特別分	地方分	特別分	地方分	特別分	地方分
総額	1,843,841千円	2,075,203千円	373,679千円	1,168,165千円	20.3%	56.3%
長寿社会福祉基金	310,942	-	36,865	-	11.9	-
高齢者・障害者福祉基金	783,013	1,082,892	186,869	547,138	23.9	50.5
子育て支援基金	674,223	795,399	109,506	496,806	16.2	62.3
障害者スポーツ支援基金	75,663	154,814	40,439	95,789	53.4	61.9
地方分モデル事業	-	42,098	-	28,432	-	67.5

(注) 地方分の要望は、都道府県・政令指定都市社会福祉協議会への要望の金額である。

平成21年度助成事業（内定）一覧については、福祉医療機構ホームページをご参照ください。
 [福祉医療機構トップページ→長寿・子育て・障害者基金事業→平成21年度助成事業（内定）一覧]

URL <http://www.wam.go.jp/wam/gyoumu/kikinjigyoku/index.html>

WAM基金

検索